

催し

☆夜空旅人(天体観望会)☆  
「ペルセウス座流星群をみてみよう」  
(8月14日の「金星食」についてのおはなし)

- 日時/8月11日(土)19時30分～21時30分
- 場所/かふか生涯学習館
- 内容/天体のお話、夏の星座などの観望
- 申込方法/電話にて下記まで
- 申込締切/8月10日(金)先着40名  
※天候・人数等により中止する場合があります。
- 申・問/かふか生涯学習館  
☎ 88-4100 / ☎ 88-5055

平成24年度  
甲賀市戦没者追悼式

- 日時/平成24年8月26日(日)  
午後2時開会(1時30分受付)
- 場所/あいこうか市民ホール
- 内容/国歌斉唱・黙祷・慰霊のことば・追悼の辞・献花・作文朗読  
\*多くの方のご参加をお待ちしています。  
当日会場で受付します。
- 問/社会福祉課  
☎ 65-0700 / ☎ 63-4085

募集

再就職・就業支援  
シニア対象「講習会」のご案内

- 【旅館・ホテルスタッフ技能講習】
- 日程/8月28日～9月7日 13時～17時
- 会場/びわ湖花街街道、琵琶湖グランドホテル、クサツエストピアホテル
- 対象者/55歳以上の県内在住者で講習に係る就業を希望しハローワークで求職登録をされている方
- 受講料/無料

- 定員/20名(面接により選考)
- 申込締切/8月17日必着
- 問・申/公益社団法人 滋賀県シルバー人材センター連合会  
☎ 077-525-4128

みなくち子どもの森自然館  
夏休み「森の教室」(後半分)

- 8月12日(日)「化石レプリカ」
- 8月19日(日)「竹鉄砲をつくろう」
- 8月26日(日)「昆虫のおりがみ」
- 集合/自然館内で受付
- 時間/14時～約1時間
- 対象/どなたでも(小学生以下は保護者同伴)
- 定員/20人(先着順)
- 参加費/200円以内
- 申込/参加者全員のお名前・連絡先・子どもは年齢を申込先まで  
※8月25日(土)14時～「しぜんさんぽ」もあります。
- 問・申/みなくち子どもの森自然館  
☎ 63-6712 / ☎ 63-0466

くらしとまちづくり講座(環境)  
「スマートエコライフのすすめ」  
受講生募集

- 夏の暮らしに楽しく工夫を加え、電力の使用を抑えて地球温暖化防止!
- 夏の節電について、身の周りのちよつとしたところからエコライフを始めてみませんか?
- 日時/8月22日(水)14時～15時30分まで
- 場所/甲南公民館(忍の里プララ)
- 講師/滋賀県地球温暖化防止活動推進センターの推進員
- 対象/甲賀市に在住または在勤の18歳以上の方
- 受講料/無料
- 申込方法/来館または電話にてお申込ください。

- 申込期限/8月21日(火)
- 問/甲南公民館  
☎ 86-3036 / ☎ 86-8119

普通救命講習受講者募集

- 日時/9月1日(土) 9時～12時(受付8時30分～)
- 場所/甲南消防署会議室
- 対象/甲賀市内にお住まい、またはお勤めの方
- 内容/心肺蘇生法およびAEDの使用
- 申込締切/8月24日(金)
- 定員/先着20名(参加費無料)
- 問・申/甲賀広域行政組合甲南消防署救急係  
☎ 86-3119 / ☎ 86-0719

平成25年(2013年)  
成人式実行委員募集

- 内容/成人式(平成25年1月開催予定)の企画・運営
- 募集対象/平成3年4月2日から平成4年4月1日生まれで、月に1回程度行う実行委員会およびリハーサル・成人式当日に出席できる方
- 募集人数/15名程度
- 募集期間/8月17日(金)まで
- 申・問/教育委員会社会教育課青少年育成係  
☎ 86-8022 / ☎ 86-8380

滋賀県統計グラフコンクール  
作品募集

- 統計に親しみ、グラフの表現技術の向上に役立ててもらうため、統計の数字を分かりやすいグラフに表現した多数の作品の応募をお待ちしています。
- 応募資格/県内に居住、通勤、通学している人
- 課題/自由
- 規格/72.8cm×51.5cm(B2版)
- 応募期限/9月5日(水)17時必着
- 提出先/滋賀県統計協会
- 問/滋賀県統計協会  
☎ 077-528-3391 / ☎ 077-528-4835

こうか  
まちかど特派員

たむら てるよ  
田村 照代



こうか  
まちかど  
特派員  
のページ

幽玄な境内に火の粉が舞う

甲南町の矢川神社では、毎年七夕まつりに手筒花火が奉納されています。その手筒花火は揚げ手自らの手作りです。その作業の様子を紹介します。

甲賀手筒花火保存会が結成されて、今年で13年目になりますが、現在のメンバーは25名とのこと。

矢川神社の七夕まつりでは、22本の手筒花火が奉納されました。

結成当時からずっと関わっておられる方から、今年をはじめて会員となられた方まで、全員が「竹を切るから、火薬を詰めるまでのすべてを自身でこなし、自分の手筒は自分で作る」と聞きました。会員がそれぞれに時間を調整して作業場に行き手筒を製作されるため、七夕まつりには明かりがついていました。

2400g(3斤)もの火薬を扱う手筒花火は、危険と隣り合わせです。そのため、保存会の一員となるには家族の同意が必要だということ。そんなにも危険なこと

「男心をくすぐる醍醐味があるから」と等と答えてくださいました。また、「経験を重ねることに、より危険で難しいことに挑戦したくなる」とも言っておられました。

七夕まつりの当日、揚げ手が自分の作った手筒花火としっかりとたずさえて登場すると、厳かな雰囲気の中で火つけ役が点火、そしてどんどん大きくなる火の粉に包まれるにつれ揚げ手の勇壮な姿がうかがいあがってきます。しばらくすると最後のハネによる爆音がさく裂し、観衆からどよめきと拍手が湧きあがりました。

甲賀手筒花火保存会では、毎年行われている「全国伝統花火サミット」にも出場されています。今年の11月3日には伊勢で行われ、来年はここ甲賀市で開催される予定とのこと。



②竹筒にゴザを巻く



③わら縄を巻いていく



④竹の節を取り、みがきかける



⑤口切り

「向き合っ  
ていこうと  
思わせる手  
筒花火の魅  
力とは何か  
と、会員に  
尋ねると  
「やっぱり  
火がすきや  
からかな」

これからも、手筒花火の魅力を多くの人に伝えてくださることを思います。

